

# 宮崎まちづくり活動団体情報

Vol. 21



【石原お助け隊】（きらり輝く活動団体を紹介）

## 豪雨災害による河川の仮復旧作業（隊長 梅村奉英さん）

### ○石原町西横手地内、河川の流路復旧作業を実施しました

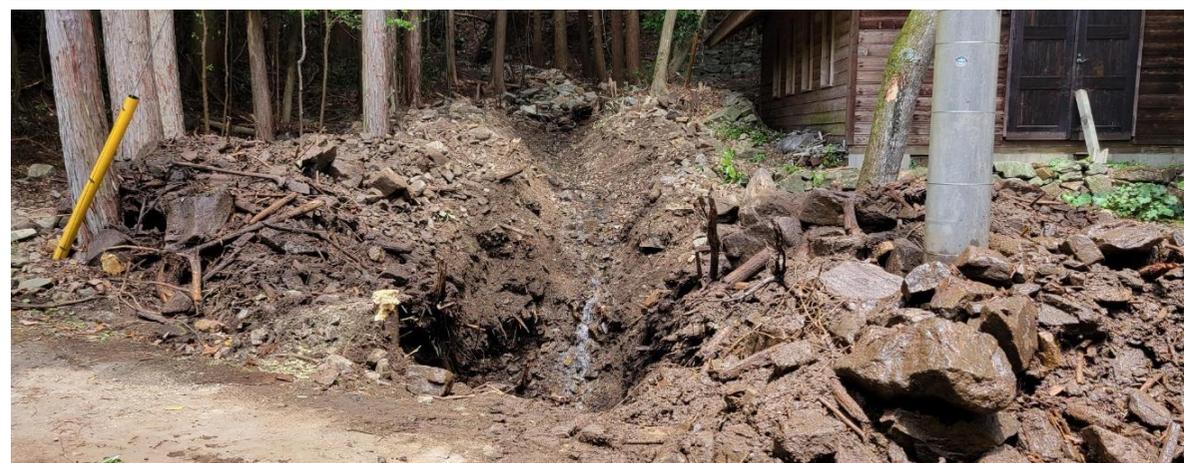
令和6年5月26日（日）、石原お助け隊による作業が行われました。昨年6月2日の豪雨により沢の水を横断するフーム管が詰まり市道へ流出する事態となりました。普段は水量も少なく地中に浸み込む程度ですが、大雨が降ると道路にあふれ出る状況でした。そこで、水の流れを元通りにしてフーム管を通して下流へ導くように流路の仮復旧をしました。地権者の協力と、地元企業が重機を貸していただいたことで、無事作業を終えることができました。流域の民家への影響を回避するための作業であり、今後は行政による治水対策を求めていきたいと思ひます。石原町自治会として、要望を上げるだけでなく自分たちでできることは率先して解決していく努力も必要だと感じました。

昨年令和5年6月3日被害状況



### ○作業状況画像（令和6年5月の現状）

安全第一で作業実施





【宮崎学区社会教育委員会】

宮崎学区運動会（委員長 岩倉伸祥さん）

○宮崎小学校開校150周年記念運動会を開催



令和6年5月25日（土）、開校150周年を記念した宮崎小学校の大運動会が開催されました。絶好の運動会日和となり、宮崎学区の先輩もたくさん見学を訪れ声援を送ってくれました。児童や園児による演技は、地域の皆さんに元気を与えてくれました。これからも子供たちの歓声が聞こえる地域づくりをしていくことを、改めて実感する一日でした。

【宮崎まちづくり協議会】

人間環境大学の学生さんが研修（会長 梅村順一）

○環境データサイエンス学科の皆さん



令和6年5月18日（土）、地元の大学生が宮崎学区を訪れ、環境と歴史の学習と共にまちづくりの手法を学ぶ研修会を開催。今年で3回目となり、大学と地域との交流を進めながら充実した内容になりました。46名の学生は、本宿から定期バスで来町。森林組合長の講話、万足平の猪垣見学、滝山合戦と武田軍と奥平軍の交戦による三ツ石の話。林道中部線を移動しながら森林浴。久保城の密談による歴史の転換。絆の森の整備状況を確認し、グループワークを行いました。



【額田消防団東部地区】

岡崎市消防操法大会に入賞（統括 林裕司さん）

○宮小運動会で模範演技を披露



入賞した消防団の模範演技を見学することができました。団員のきびきびとした格好や機材を的確に操作し消火活動をする一連の動作を目の当たりにして、大変頼もしく感じました。地域の安全を守るよう活躍を期待しています。

【歴史文化探訪委員会】

旧雨山電気利用組合事業（委員長 清水力さん）

○雨山町で水力発電事業が実施されていました



令和6年4月12日（金）水力発電の歴史を調べる為、「雨山電気利用組合」に関する現地調査を実施しました。雨山地内の道路の直ぐそばに、川を堰き止め水路を通した跡及び発電所があった場所を確認しました。同組合の資料も町内の個人宅から発見。昭和6年6月26日発電所水利使用の認可、同年12月3日工事着手届を名古屋逓信局長に提出、同月24日竣工して27日には使用開始届を提出しています。現在のように太陽光発電や原子力発電の無い時代に、当時の人が水力発電に賭けた思いを想像することが出来素晴らしいと思えました。今後は、自然エネルギーを活用して発電を思い描いています。

【にぎわいづくり委員会】

メンマづくりに挑戦しました（委員長 平木教男さん）

○竹プロジェクト事業の第3弾



令和6年5月1日（水）ミツワ広場作業場で、にぎわいづくり委員会のメンバーによるメンマづくりが始まりました。幼竹を伐採搬入して、湯がします。メンマサイズにカットして塩漬、上手に水が上がるか心配です。楽しそうでした。

【石原町自治会】

石原農村公園愛護会（委員長 赤松弘一さん）

○農村公園トイレ周辺整備



公園を管理する愛護会会員により、トイレ周辺の環境整備を実施しました。かねてより水がたまり、ぬかるみトイレを使用すると内部が泥だらけになる状況でした。そこでトイレ周りに犬走を設置しました。地元住民による本格的な土木工事でした。気持ちよく使うことができますね。